

下蒲刈島は古くから瀬戸内海航路の要衝として栄え、江戸時代には善隣友好使節団であった「朝鮮通信使」の一一行を出迎える地としても知られています。朝鮮通信使一行がこの地を訪れた際には、藩をあげて、島をあげての盛大なもてなしを行い、その様子は「島が沈むほど」と表現されています。このイベントでは、色とりどりの再現衣装を身にまとった約250人の参加者が、当時の様子をパレードとして再現します。



◎ 下蒲刈へのアクセス方法 Access

● 広島市内から車で約60分

呉市内から国道185号線を竹原方面へ。安芸灘大橋（有料）を渡った最初の島が下蒲刈町です。
朝鮮通信使再現行列当日は町内に臨時駐車場があります。係員、看板等の指示に従ってご駐車ください。

指定施設にて1,000円以上ご利用の方に安芸灘大橋の帰りの通行券を進呈！
詳しくは、くれ観光情報プラザ TEL.0823-23-7845までお問い合わせください。

● 呉市内から電車・バス利用の場合

JR呉線で広駅で下車し、広駅前から瀬戸内産交株式会社運行バスに乗車。「三之瀬」停留所で下車してすぐが下蒲刈市民センター（パレード出発・到着地点）です。

● バスに関するお問合わせ

瀬戸内産交株式会社 TEL:0823-70-7051

